

初瀬街道

伊賀 阿保宿



9 道標



8 大村神社宝殿



7 水神
天保6年(1835)建立。地蔵川のほとりにある。



6 しばられ地藏
地元では「しばられ地藏」と呼ばれる。



5 歌碑
本宿置が「菅笠日記」の中に記した伊賀の中山の風景、「阿づらの伊賀の中山なかなか見れば過うき神のいははら」の歌が刻まれている。このあたりには、中山天狗岩伝説が残っており、初瀬街道の旅人に悪さをする天狗が住んでいたと伝わっている。



3 道標
文政9年(1826)建立。「菅川迄十四里 石いせ道」と刻まれている。



2 「菅笠日記」記念碑
「菅笠日記」の一節が刻まれている。



1 伊勢路の常夜燈
文政11(1828)年のもの。北山から大山田方面へ通じる道の分岐点に立つ。伊勢路の町並みに似合っている。



10 常夜燈と水神碑
左の常夜燈には「大神宮」と刻まれている。阿保橋を渡った左側。



11 菅笠日記抄の碑
明治9年(1876)日本橋区本町に菅笠日記の石版を複製し、これを石版に刻み、阿保川に架かる阿保橋の橋脚に設置された。菅笠日記の石版は、阿保川に架かる阿保橋の橋脚に設置された。菅笠日記の石版は、阿保川に架かる阿保橋の橋脚に設置された。



29 真性寺



28 道標
1860年(天保11)年、伊賀守の菅笠日記の石版を複製し、これを石版に刻み、阿保川に架かる阿保橋の橋脚に設置された。



25 七見峠に通じる山道の風景
急な坂道が続く十七曲(まがり)という異名を持っていた。現在は荒れていて、人は通れない。



23 常夜燈
「阿保」に刻まれている。



21 常夜燈



19 常夜燈と地藏群
道路・火薬庫跡に建てられた。



16 阿保頓宮跡
持統天皇や聖武天皇が伊賀への旅の途中、一夜の宿とされ、平安時代には、伊賀神宮の菅笠日記に「阿保頓宮」として記されている。



14 西法花寺常夜燈



13 青山地酒博物館 若及びす吟醸館
嘉永6年にひらいた老舗の造り酒屋「若戎造り株式会社」がお酒造りを紹介してくれる博物館。お酒の試飲の方が見られる「吟醸館」と地酒の試飲と販売をしている「造り酒屋」がある。「吟醸館」で見学すると酒かすケーキを食べることができる。



27 新田の常夜燈



26 上庄田の常夜燈
天保3年(1832)のもの。名張市で最大の常夜燈。「大神宮」と刻まれている。



24 常夜燈と水神碑



22 奥の院「不動尊」
石造五輪塔(不動院)は、伊賀市の文化財に指定されている。



20 安楽寺
旧青山岡内古の石造仏と十三重の塔がある。



18 常夜燈
自然石の常夜燈が多く残っている。



17 庚申碑
青面金剛(しょうめんこんごう)の像が刻まれている。



15 息速別命の墓
第十代額王(天智天皇)の皇子(皇孫)の墓(「息速別命」)と推定されている。伊賀守の菅笠日記に「息速別命」と記されている。菅笠日記「阿保」に「息速別命」と記されている。菅笠日記「阿保」に「息速別命」と記されている。